



ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



第 11 号
R5.6.23発行
文責 永田 功臣

授業探訪

～最近の授業の様子～

21日（水）は夏至でした。昼間の時間が一番長く活動の時間が十分とれる季節です。子どもたちは放課後もいろいろな活動に取り組んでいる話をしてくれます。校内でも頑張っている学習の様子をお伝えします。

<1年>

算数の引き算の学習の合間にタブレットでローマ字の入力の練習に取り組んでいました。レベルの高い拗音（ようおん）にも挑戦していました。このタイピング練習が、その後のICT活用に生きてきます。



<2年>

国語では「わかりやすい説明のひみつ」をお手本の文章から探す学習を行ってきました。話合いでも友だちの意見に対して質問したり、確かめたりするなどレベルを上げています。自分たちでお互いに学び合う力をつけていきます。



<3・4年>

陽希くんのお祖母さんをゲストティーチャーとしてお招きし、梅干しづくりに挑戦しました。たくさんの塩を使用するのでそれを量り取っていました。そして3つの樽に漬け込みました。どんな梅干しができるか楽しみです。



<5・6年>

芦北町立内野小学校、宇土市立緑川小学校の先生方をはじめ教育センターや教育審議員等、多くの先生が参観される中、国語の授業が行われました。自分の考えをみんなに納得してもらえるよう、根拠を交えながら自分の言葉で粘り強く説明していました。特に6年生は、ほとんど自分たちで学習を進めることができました。



地域から 片山さんから「すもも」、老寿会から「雑巾」、吉岡さんから「トマト」をいただきました。地域から愛される励徳小です。感謝です！！



☆はうから☆

～キラリと光るために～

あいさつやハキハキとした返事は自分だけでなく相手もさわやかな気持ちにさせます。

ぜひ、「この人には勝てない」と思われるぐらいのあいさつや返事の名人になって、学校や地域で会った周りの人を元気にしてください。

「キラリと光る」ために
相手に聞こえるように
きれいな声を出して
友達や先生に会ったら
元気になるあいさつをがんばる



「あいさつと返事の名人」
五年 山田 静衣

租税教室

～6年生が税金について学ぶ～

先週の16日（金）に税理士の先生をお招きして、6年生を対象に税金について学ぶ租税教室を実施しました。



普段の生活の中から、どのような税金の種類があるのかを知り、次にアニメのドラマを見て「税金のない社会はどういう世界か」をイメージし、最後に税金の使い道を一人当たりの金額で考えていきました。おまけとして、「1億円の重さ」を実際に手に持って体験させていただきました。

6年生全員が積極的に参加し、発表したり質問したりして、税金の必要性や納税の義務、物を大切にする心などをしっかりと学んでいました。

もっとサイエシス



私は、健康維持のために毎朝バナナを食べています。皮をむくと、いつも白い筋のようなものがついてきます。「これは何？」とふと思いました。といえば、ミカンにも同じようなものがあります。調べてみると、「維管束（いかんそく）」と呼ばれる栄養分の通り道でした。管状になっていて、人間でいう血管のような役割を果たします。理科で習うのでぜひ覚えておいてください。

また疑問がわきます。「ミカンには種があるのにバナナの種はどこにあるのだろう？」と。いろんな疑問について、みんなも調べてみませんか。